

2015イーナちゃん駅伝カーニバル 子どもの部1位 美篤チーム 過去最高成績! 地区の部3位 総合2位



美篤区民を代表して走ってくれた皆さん、応援してくれた皆さんありがとうございました。

子どもの部

第1走者の原瑚都子(末広)さん。スタートで失敗したけど、最下位から全員をごぼう抜き。トップでタスキを第2走者へ。1番手の役割を十分に果たしてくれました。



混戦から抜け出す第2走者の伊藤希美(南割)さん。美篤史上 一番速い3年生として、期待以上の走りでチームを乗せてくれました。これまたトップで第3走者へ。

ライバルチームの追い上げにも冷静に、自分のレースをしてくださいました。最後のスパートには観客も大いに沸き、第3走者の宮下偉歩葵(中県)くんもトップでタスキをつなぎました。



美篤の女王が、見事に輝きました。ライバルの追い上げにも冷静にレースを考え、2週目でしっかりトップをキープ。強敵がそろそろ第4区を制しました。第4走者の橋原芽伊(下川手)さん。

激しいレースはアンカー勝負へ。追いついてきた相手にあわてることなく、2週目の登り坂でスパートし、そのまま独走のゴールへ。1000メートルのスペシャリストという名にふさわしい走りをしてくれた、田中稜馬(中県)くん。見事に3年ぶりの王座奪還！



全区間でトップの完全優勝。美篤の子どもは伊那市で1番。

地区の部

駅伝で最も重要な第1区。各チームのエースがそろろう中、堂々の3位で第2区へタスキをつないだ 城田京太郎(上原)さん。プレッシャーに負けない力強い走りを見せ、美篤チームをのせてくれました。(写真右)



初出場以降スランプに陥り伸び悩んでいた春日隆大(上原)。「今年は何とか弱い自分を変えたいんです。こんな僕でもチームのために頑張りたいんです。」と言っていた春日さん。この日は見事に復活し、チームを第2位へと押し上げる学生時代のような走りでした。彼の復活には応援席から涙を流して喜んでいました。レース後に「まだまだ走ります。そしてもっと強い自分になりたいです。」と語っていたその視線には来年のレースを見ているようでした。(写真左)

第3区 吉沢裕奈(上原)さん
安定した走りで上位をキープ。
他の選手が男性ということもあり、順位は1つ下げましたが、しっかり3位でタスキをつなぎ、チームが浮上する可能性を大きくしてくれました。
(写真右)



他の若い選手に負けない力強い走りを見せてくれた 矢野源彦(上川手)さん。急きょ参加したレースというハンディを感じさせない力走でした。順位を1つ上げ2位で中盤5区へタスキをつなぎ、いよいよ美篤旋風が現実味を帯びてきました。(写真左)

中年の星 参上

エース健在

ベテランらしい、いや、若い選手に負けない素晴らしい走りでもチームを引っ張る中盤のエースが今年も見事な走りで、なんとトップでタスキをつなぎました。美篤初の暫定1位を記録した中山公良(南割)さん。(写真右)



トップで受けたタスキのプレッシャーに負けることなく、安定したラップを刻んだ宮坂佳穂(上原)さん。順位を下げることなく、いよいよ終盤戦へ突入です。

ここまで奇跡のトップ通過。応援席もおおいに盛り上がり、期待が大きく膨れ上がりました。



各チーム、実力者が走り出す終盤戦。その中でもしっかりと走り切り、優勝へ望みをつないだ伊藤朋香(上大島)さん。前の選手をしっかりと見て走る姿は見事でした。



チーム最多出場となった黒河内孝良(末広)さん。昨年まで長年走ってきた選手が入れ替わった今年。チームの精神的柱として、ベテランらしい安定した走りで激戦区を乗り切り、アンカーへ2位との差を詰める3位でタスキリレー。頑張るお父さんの姿は、子どもたちの目にしっかりと残っていくと思います。

パパ頑張れ

順位を上げるため必死で走る 春日雄大郎(上大島)さん。2位との差は20秒。必死で前を見てくらくらしていた1周目。あきらめることなく周回を重ねたが届かなかった。各チームエース級がそろそろ最終区間。県縦断出場選手を相手に正面からぶつかり挑戦していった走りに拍手です。



歓喜のゴールとにぎやかな表彰台



過去最高成績で終えた今年の駅伝。もちろん結果より楽しく走ることが1番なのだが、やはり勝つと気持ちがいいものです。選手はもちろん、陰で支えてくれた裏方のスポーツ相談員や区長会の皆様に感謝です。